

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！3期生の海外留学が始まっています。9月、10月で5名が新たに留学を開始します！

## 9月、10月から留学を開始する第3期生を紹介します！

### 【学生留学コース】



#### 石垣 のぞみ

- テーマ 本道農業の魅力を発信するため、環境立国ドイツで有機農業を学ぶ
- 留学先 ドイツ（受入機関：現地農家）
- 留学期間 2019年10月～ 11か月間
- 留学目的 バイオダイナミック農業などを行うドイツの有機農家の元で研修生として働き、持続可能な農業のあり方について考えたい。また、農家民宿を運営する農家の元で働くことで、グリーンツーリズムについて学びたい



#### 有働 篤人

- テーマ 札幌を世界のデジタル観光都市にするため、ソフトウェア開発を学ぶ
- 留学先 フィンランド（受入機関：オウル大学、現地ゲーム企業）
- 留学期間 2019年9月～ 9か月間
- 留学目的 北海道経済を支えるような新たなゲームコンテンツ産業を創出するため、フィンランドで先進的なゲーム制作を学ぶとともに、北海道をデジタルコンテンツによって発展させるための端緒を掴む



#### 海辺 菜々美

- テーマ 北海道の地域資源を活かした観光振興のため、アドベンチャーツーリズムを学ぶ
- 留学先 カナダ・アメリカ（受入機関：現地観光関連機関）
- 留学期間 2019年9月～ 6か月間
- 留学目的 アラスカでインターンシップとフィールドワークを行い、需要側のニーズと供給側の意識のギャップに注視しながら、アドベンチャーツーリズムについて調査・研究を行う

### 【文化芸術コース】



#### 清水 柚衣

- テーマ 北海道の音楽環境や音楽レベル向上のため、リスト音楽院ノンディグリープログラムに参加
- 留学先 ハンガリー
- 留学期間 2019年9月～ 10か月間
- 留学目的 演奏活動を通して音楽に溢れた北海道を創るとともに、後進の育成や北海道の音楽環境、音楽レベル向上に貢献するため、世界的に有名なピアニストのレッスンを受講する

### 【未来の匠コース】



#### 鹿野 皓己

- テーマ 北海道ブランドのワインを確立するため、ドイツで醸造技術を学ぶ
- 留学先 ドイツ
- 留学期間 2019年9月～ 6か月間
- 留学目的 道産ワインを世界に流通するブランドとして確立させ、北海道をワインの銘醸地にすることを目指し、ドイツでワイン醸造の最先端技術を学ぶ

## 留学生たちの活動状況

### 学生留学コース

#### 第2期生 林 泰佑 さん ～木造建築技術を学び、海外との架け橋となる建築家を目指す～

森林環境が北海道と似たフィンランドで、アアルト大学のウッドプログラムを受講し、9月に帰国

8月は、実際に構造材の接合状況や部材のサイズの確認など、今後モデルを作成する際の参考データを集めるため古城で実測調査を行いました。建築のスケール感を体感できたり、木材加工の際の道具が斧かノコギリかの違いで、手が増えられた年代を想定したりと、現場に行かないとわからない面白さを感じることができました。新しく生み出すデザインだけでなく古く価値のあるものを残すデザインの考え方を知ること、新しく建築を生み出す時にもプラスに働くことが多分にあると感じました。



**第2期生 星野 愛花里さん** ~種子生産やその輸出入を学び、北海道農業との連携を目指す~

**種子ビジネスの発展が期待されるキルギスに、12月から1年間留学中**

8月は、有機農産物を扱う農協の作業を手伝うとともに現在の農村のシステムを把握するため、農村住民への聞き取り調査を本格的に始めました。いつでも有機認証を取得できるように、組合員の圃場図・作付けデータをロシア語で記入する作業をしました。昨年の圃場図を持って行くと話やすかったです。これから日本へ薬草を輸出するという話もある中、販売先を獲得して農協の経営を軌道に乗せるために、自分に出来る作業をしていきたいと思ひます。



**第3期生 立花 洋太郎さん** ~ものづくり産業の人材育成のため、ICTを活用したものづくり教育を学ぶ~

**ICTを活用したものづくり教育を学ぶため、教育先進国のノルウェーに、8月から6か月間留学中**

8月は入学式やオリエンテーション、メンターウィークと呼ばれる行事がありました。メンターウィークは学部で2年生がメンターとなり、1年生や交換留学生と新しい大学生活に慣れることや、学生や留学生との交流を目的とした行事になっています。そこで多くのノルウェー人学生と交流を深めることができました。ノルウェーは、高校卒業後の進路の多様性やそれに寛容な社会であり、個人の学力や能力、適正に合わせた教育が日本より充実している印象を受けました。その背景として、職業教育やものづくり教育を通じて個々の能力や適性を伸ばす独自の社会風土が大きく関係していると感じました。



**スポーツコース**

**第2期生 田中 怜恵子さん**

**~本場でラグビーを学び、道内女子ラグビーの発展に貢献~  
ラグビーの本場ニュージーランドで、3月から6か月間、指導者と選手双方の立場からラグビープログラムに参加し、8月末に帰国**

8月のプログラムを終え、6か月の留学を無事終了することが出来ました。この6か月間で様々なチームの練習に参加しましたが、どのチームのコーチにも共通している点は、選手とのコミュニケーション能力が高いことです。日頃から選手たちと積極的にコミュニケーションをとり、選手たちの状態を把握しながら信頼関係を築いていくことが重要であると感じました。帰国後は、留学で学んだミーティング内容などを活かし、チームの土台作りから積極的に関わっていきたくて考えています。



**第3期生 向井原 洋平さん**

**~アスリットラーに必要な知識と技術を習得、道内スポーツ界に貢献~  
アメリカで最新のスポーツ医学を学ぶため、7月から1年間留学中**

サンフランシスコジャイアンツ(SFG)での活動では、シーズン中の復帰が不可能となる急性の外傷が2件起き、2件とも応急処置が適切に行われ、医療体制が整っていることで、迅速に対応できています。

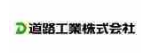
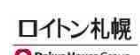
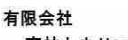
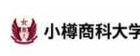
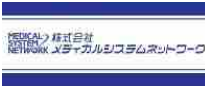
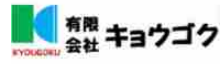
医師が1~2人、毎試合、アスレティックトレーニングルームで待機しており、また、球場の一角に医療クリニックが設けられていることが大きな要因です。

こちらのプロスポーツを肌で感じることは、スポーツの地域社会への関わりや将来への可能性を考える上で非常に役立っています。



**応援パートナーの皆様**

(2019年9月現在・敬称略)



有末 真哉 石川 諭史 遠藤 光二 小黒 敬三 坂詰 貴司 佐藤 友昭 (税理士法人FULL SUPPORT 代表社員税理士) 鈴木 伸明  
武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹 その他匿名希望の個人・企業5者

北海道総合政策部政策局総合教育推進室

TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-6313

E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>



助成対象者のチャレンジ風景をお届けします。

